

狭あいな町道の拡幅について



質問者
鈴木 眞徳 議員

昨年末に旧川久保商店付近の小田急踏切、町道23号線が拡幅されたことは、地域にとって非常にありがたいことですが、中河原地区を周回する町道23号線は、狭あいな町道と言わざるを得ません。また、座談会で話題になります町道19号線についても同様です。

そこで、防災上の安心・安全の確保、また利便性の向上のためにも、狭あいな町道の拡幅や河川で行き止まりとなっている道路を解消するお考えはありますか。さらに、道路拡幅後の定住化や未利用地の活性化について、お考えをお聞かせください。なお、町道拡幅には地

権者の理解が必要になります。地元の人にも協力いただけるよう説得に努力してください。

A

安心・安全な道路を整備

回答 (町長)



幅員4m未満の区間は、沿道宅地の建築に伴うセツトバックという形での拡幅や宅地開発に伴うセツトバックにより少しずつ拡幅を実施している。更に、行き止まり道路の解消には、災害時の複数避難ルートの確保や救



拡幅された町道23号線

助・救援活動を支える重要な役割があり、整備により安心・安全な居住環境が整えられることで、住み続けたい街となり、人口増加に繋がるものと考えている。

町屋を結び町道19号線や23号線のような幹線道路については、単なるセツトバックではなく、車両通行の円滑化や歩行者の安全確保が重要で、路線の持つ役割や交通量に見合った規格の改良事業を総合的に判断する。

新時代の町民ニーズに対応した土地利用を進めていく。特に、神山から

町民の健康と未病いやしの里としての取り組みは



質問者
齋藤 永 議員

町民文化センターにスポーツ環境を整備する考えが示されました。老若男女がスポーツに取り組

み、健康を維持していくのは大変良いことだと思います。そこで次のことをお尋ねいたします。

(1) 以前私が質問しました、サッカーやフットサル専用コート等、検討することのお答えでした。今や全世界での競技人口は200を越える国で、2億5千万人を超える選手達がプレーをしています。FIFAワールドカップのテレビ視聴者数は全世界で延べ300億人を超えており、世界で最も人気のあるスポーツです。その後の状況は？

(2) 未病いやしの里として県西地区が中心になっておりますが、衰退した地域の産業の活性化としての取り組みのお考えは。

A

専用施設は費用対効果が低く造れない

回答
(教育長・町長)



(1) 寄みやま運動広場をサッカーやフットサルの



寄みやま運動広場

専用施設にするのは、専門家の意見では雇用創出や観光客誘致、地元産品の販売などメリットがあるが、投資効果が低いという結論に達した。

(2) 商店街の活性化の取り組みは、県は商店街が「未病を改善する」考え方の普及のため、「コミュニティカフェ」等を新設する際の空き店舗改造費に対する補助金として、平成29年度も4千万円が計上されている。

松田町でも空き店舗を活用した事業を行う方に対し、月額家賃の3分の2以内で5万円を上限に半年分の補助金を計上している。